

平成28年5月4日  
国土交通省中部地方整備局  
富士砂防事務所

## 『富士山大沢崩れの土石流を大沢川遊砂地でキャッチ』 ～下流への被害は発生しておりません～

5月4日(水)の大雨により大沢崩れから土石流が発生しました。  
現地を確認したところ、土石流は大沢川遊砂地にて捕捉されたため、下流域での被害は発生しておりません。

大沢川遊砂地に達する、大沢崩れからの土石流の発生は、平成27年12月11日以来となります。

5月4日の大雨では、大沢川上流の<sup>おちゅうどう</sup>御中道雨量観測所で時間最大雨量27mm(暫定値:5月4日04時~05時)、累計雨量99mm(暫定値:12時現在)を観測しました。  
富士砂防事務所では監視カメラ等により警戒にあたり、4時頃に土石流の発生を確認しました。

12時現在、大沢川遊砂地の上流の「岩<sup>いわどい</sup>樋上流」監視カメラによると、溪流は概ね平常の状態に戻っています。

管内の他の砂防施設に今回の大雨による被害は発生しておりませんが、詳細については、今後、調査を進める予定です。

【問合せ先】 国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所  
(技術)副所長 島崎 誠  
TEL 0544-27-5221

# 平成28年5月4日 監視カメラ映像による 土石流発生状況



「岩樋上流」監視カメラ映像

「岩樋終端」監視カメラ映像



